

**大槻玄沢** **蘭方医・蘭学者。「蘭学階梯」を刊行、日本初のおらんだ正月新元会を催すなど、蘭学界を主導した。**

おおつけんたく

源内物産会・1757 = 陸奥国磐井郡中里村で、紅毛流外科医千葉元良の嫡男に生まれる。

**大岡忠光没**・1760 = 3歳 :

**蘭金銀錦絵始**1765 = 8歳 : この年、一関藩医建部清庵に学んだ父が田村氏に仕えて、大槻玄梁となる。

**忠臣蔵大当り**1766 = 9歳 :

..... 1769 = 12歳 : **父の師建部清庵に入門して医学を学ぶ。**

**田沼意次老中**1772 = 15歳 :

大原騒動・1773 = 16歳 : この年、かねて蘭方医に疑問を抱いていた清庵の質問書を弟子が杉田玄白に手渡し、その見識に驚いた玄白が返書して、両者の親交が始まる。

**黄表紙始**・1775 = 18歳 :

**船蝦夷来** 1778 = 21歳 : **江戸に出、清庵が親交する杉田玄白に入門、傍ら前野良沢に蘭語を学び、**

その刻苦勉強ぶりを両師から愛されて、その名の一字ずつをとって玄沢と号することになる。

**蘭学階梯**・1783 = 26歳 : **\*「蘭学階梯」成る。**

意知刺殺事件1784 = 27歳 :

蝦夷初調査・1785 = 28歳 : 松平静山と木村兼葎堂を訪問する。両師の励ましを受けて、希望していた長崎へ遊学、

**田沼意次失脚**1786 = 29歳 : 帰府するや、仙台侯侍医となり、江戸詰を命ぜられる。「六物新志」刊。**芝蘭堂を開塾、入門帳に記載された門人は94名だが、長男大槻玄幹の「先考行実」には門弟数百人とある。**

..... 1788 = 31歳 : **「蘭学階梯」刊行。**

**ウツ来日**・1792 = 35歳 : 大槻玄沢著・蓮沼要助編「蘭摘芳」(初編)成る。

**松平定信引退**1793 = 36歳 :

ウツ 正月・1794 = 37歳 : **\*西暦1月1日にあたる日に、京橋水谷町の芝蘭堂で、日本初のおらんだ正月新元会を催し、「蘭学会盟引」を作り、江戸蘭学者の中心人物となる。**

**グート来航**・1796 = 39歳 : **蘭学者芝居見立番附では座頭、**

昌平覺始・1797 = 40歳 : 煙草関連事項を総合した訳著「篤録」刊、

古事記伝・1798 = 41歳 : **相撲見立番附には勲進元となっている。**

蝦夷地直轄始1799 = 42歳 : 「蘭説弁惑」刊行。

ハイステル外科書を訳して「瘍医新書」を著わし、

**藤栗毛始**・1802 = 45歳 :

**仙台藩主の叔父で近江堅田侯堀田正富が若年寄となり外交に関係すると、その知遇を得、海外情報の収集から対外政策を助言するに至る。漂民津太夫らがロシアから遣日使節レザノフに送られて帰国すると、**

**船狼藉**・1807 = 50歳 : **藩命で漂民の伝聞を「環海異聞」に編む。同年の「捕影問答」は対外策論である。**

**フェトン号事件** 1808 = 51歳 : 家畜去勢術書「紅毛扇馬訳説」など、訳書は多種多様で合計254巻に及ぶ。

間宮海峡発見1809 = 52歳 : 「篤録」刊

**グン拿捕** 1811 = 54歳 : 馬場佐十郎とともに、**\*幕府天文方に新設の蛮書和解御用局の訳員となり、「厚生新編」訳述を始める。**

黒住教・1814 = 57歳 : ズーフ、江戸に出府し、宇田川榛斎・大槻玄沢らに薬物等について質問する。

**水野忠成老中**1818 = 61歳 :

..... 1820 = 63歳 :

..... 1826 = 69歳 : **\*「解体新書」を改訂した「重訂解体新書」全14巻を完成して、**

日本外史・1827 = 70歳 : **没した。**

「人づくり風土記(岩手)」、「没年日本史人物事典」、「日本の群像」、平凡社百科事典、「本朝医人伝」、日本の古典名著、